



2017-2018年度 国際ロータリー第2580地区 東京東大和ロータリークラブ例会報告

ロータリー:
変化をもたらす

第2580地区テーマ 『感動と調和』
ガバナー 吉田 雅俊

第2214回
2017.7.25

RI会長
イアン H. S. ライズリー

クラブテーマ 『楽しく魅力あるロータリー
ライフを過ごすためには』

第46期 クラブ会長 虎井 廣志



点鐘 : 虎井 廣志 会長

ソングリーダー : 竹田 光明 会員



・ロータリーソング
「奉仕の理想」斉唱



東京東村山RC 野崎 一重様、町田 清二様、北久保 隆一様

お客様紹介 : 藤宮 志津子 幹事

会務報告 : 虎井 廣志 会長



・会務報告ではないのですが、先日テレビ朝日を見ていたら、人工知能とナノテクノロジーと遺伝子工学、この分野において『シンギュラリティ』というのが発生していますと言っていました。シンギュラリティ？。凄い発展をしていると言う事です。昔落語にありましたが、お殿様の命を助けて、褒美は何が良いかと問われて、『何も要りません、1日目に1文下さい、2日目に2文下さい、3日目に4文下さい。』と言って、お殿様はそんな物で良いのかと言ったところ、1ヶ月後には何万両にもなってしまった、と

言うお話がありますが、そのきっかけがシンギュラリティと言って、一定の程度を越えると倍々に進んで行き、一直線に上に上がって行くそうです。人工知能で言うと、将棋の世界では以前は人間の方が勝っていましたが、今ではAIの方が勝っています。それはもう変えられないだろうと言うことです。ナノテクノロジー(人工分子システム)の世界では、ものすごく小さい物が開発されていて細胞よりも小さいロボットを注射することによって、病気を治してくれると言う事だそうです。遺伝子工学では、人のゲノムの解析で血液や唾液で遺伝子が解ってしまう。遺伝子によって性格が解ってしまうと言うことです。これらの研究が進んでいくと病気にならないと言うことになります。150歳になっても、はなたれ小僧という時代が来るかも知れないと言う事でした。ロータリークラブの平均年齢が高くなっても良いか、と思い始めている今日この頃です。

- ・ 例会場 : 〒207-0022 東大和市桜が丘 1-1330-19
BIGBOX東大和内
TEL 042-566-6411
- ・ 事務局 : 〒207-0014 東大和市南街 5-89-11 2F
TEL 042-564-8338 FAX 050-3488-1715
- ・ E-mail : info@higashiyamato-rc.org

- ・ 例会日 : 毎週火曜日 12:30~13:30
- ・ 創立 : 1972年2月23日
- ・ 認証 : 1972年3月3日
- ・ 日本RC認証 No.1100
東京東大和ロータリークラブ



幹事報告 : 藤宮 志津子 幹事



- ①地区青少年奉仕委員会より、「青少年奉仕情報」が届いています。回覧
- ②九州北部豪雨災害支援金のお願いが届いています。
- ③踊りフェスティバルへの30,000円の協賛と後援の名義使用を承諾しました。
東大和市文化協会への賛助金については、現在保留となっています。
- ④公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より、「2017年度上期普通寄付金のお願い」が届いています。
- ⑤「ポリオのない世界のための奉仕賞」並びに「ポリオプラス・パイオニア賞」の資料と推薦書が届いています。どちらも国際ロータリー本部への推薦期限は、10月1日迄となっています。
- ⑥7月度理事・役員会の議事録を回覧しております。
- ⑦9月度例会のご案内を配布しました。出欠をお知らせ願います。

出席率発表 : 岩田 英樹 出席委員長



会員数	出席者	出席率	修正
23名(免除者2名)	16名(免除者0名)	76.19%	なし

二コ二コ発表 : 安岡 伸雄 親睦委員



東京東村山 RC 町田清二様 本日は藤宮幹事を激励の為にわざわざお世話になります。

東京東村山 RC 野崎一重様 お世話になります。今年度も宜しくお願い致します。

虎井廣志会長 東京東村山ロータリークラブ 町田清二様、野崎一重様、北久保隆一様、ようこそいらっしゃいました。ごゆっくりして行って下さいませ。

守重勝弘会員 東京東村山ロータリークラブ 町田清二様、野崎一重様、北久保隆一様、お暑い中ご来会ありがとうございます。

森田憲治会員 東京東村山ロータリークラブ 町田様、野崎様、北久保様、ようこそいらっしゃいました。

安部琢正会員 東京東村山ロータリークラブ 町田様、野崎様、北久保様ご来会ありがとうございます。
ごゆっくりお過ごし下さい。

二コ二コ 本日計 11,000円	累計 109,000円
------------------	-------------

お客様ご挨拶 : 東京東村山RC 野崎 一重 様



・本日、3人でお邪魔したのは、明日、明後日と新潟へ親睦旅行で行って参ります。その関係で本日メイキャップに参りました。今年度、波多野ガバナー補佐、金野分区幹事には、早々に訪問戴きまして有り難うございました。東大和クラブとは、親子の関係ですのでIM等で何かありましたら、東村山クラブとして全面的にバックアップしていきたいと思っていますので宜しくお願いします。

委員長方針発表

国際奉仕委員会、ロータリー情報委員会 浦川 哲男 委員長



・地区の国際奉仕委員会は、まだ 1 回しか開催されていませんが、最終目標としては、カナダの世界大会に行こうと言う事です。日韓親善会議、日台親善会議、バギオ訪問交流のこれらの 4 委員会を包括するのが、委員会の役目であると言うことです。カナダ(トロント)世界大会が、6月24日～27日。バギオ訪問が、2月9日～12日。日韓親善会議は、9月23日 韓国ソウル開催。日台親善会議が、3月1日 台湾高雄にて開催と言う予定になっています。

ロータリー情報委員会ですが、『ロータリーの友』を読むことによって各クラブ活動状況が解りますので是非お読み下さい。色々なロータリーに興味を持てる情報を発信して行ければと思います。

社会奉仕委員会、職業分類・選考委員会 若林 和男 委員長



・個人的には、『奉仕をしようとする者達の集まりであるロータリークラブ』として、社会奉仕委員会は、最良の場と考える 1 人です。環境問題、青少年育成等々委員会としても、何かロータリークラブを通じて情報発信が出来ないかとも考えております。そのいくつかをテーブルに上げて前向きな意見が戴ければと思います。

恒例の 11 月の福祉祭では、『福祉祭副実行委員長』と言う役を戴き責任を感じているところです。その中で、11月12日(日)の福祉祭での団子売りは、先人達の思いも込めて当然 1,000 本位は考えており、少しでも企業人の集まりでもあるロータリークラブとしても、又、クラブの現状を考えても、ビジネス的にも赤字幅を改善できる方法はないだろうか。それと、クラブのテントですが、浦川会員に預かって戴いてますが、人手不足・運搬・組立に危険も伴いますので、非営利団体としてテントの無償借用を申し込んであります。団子の販売額ですが、今迄の 5 本 300 円を、今年は 3 本 300 円ではどうだろうか、4 本 400 円では、3 本 250 円では、と検討して行きたいと思います。又、会員の中に、花の関係者がいらっしやるので、花の販売や他業種での事を考えられないか検討していききたい。その他にもコーンスープや甘酒の販売をしたらどうだろうか検討していききたいと思います。

木下親睦委員長が納涼会で、蛍を取り込み、蛍当選者に短歌を詠んで貰うという今迄に無い発想から、納涼会参加者も何かを学んだ事と思います。その様な事から、地域の観光を含めての『街づくり』の事を思う時、青少年、外国人、お年寄り、他団体等を巻き込んだイベントかサミット会議はどうでしょうか。予算面もありますが、クラブ活性化の為に会員皆様の協力が戴けたらと思います。(若林委員長原稿より)

職業奉仕委員会 竹田 光明 委員長



・職業奉仕を考える中で、フレデリック・シェルドンの提唱した職業奉仕の考え方をロータリークラブが受け入れて、今日まで受け継がれている事が他クラブとの違いと言われています。日々の仕事を通して世の中に貢献する。奉仕の心をさらに向上させる。奉仕とは、他人の為に何かをする事、他人のニーズを満たす事、その責務を行う事とロータリー百科事典に書いてあります。この奉仕の大前提に乗っ取りまして、今年度の職業奉仕委員会を進めて参りたいと思います。職場見学をしたいと考えています。

マイクロソフトを見学に行った事があるのですが、大きな体育館のような所に色々な机やソファが置いてあるのですが、何処に座っても良いし勝手に来て仕事をして、勝手に帰ると言う事が実際に行われています。こういう所を見学する事が一つの啓発になるのかと思います。理化学研究所に行ってみたくと思っています。原子 113 番元素ニホニウムを発見した仁科研究室が有るところです。天皇皇后両陛下が視察に行かれた時に、教授に『その原子が見つかる事によって、国民の生活はどう変わるのですか?』と言うご質問に対して、『何も変わりません。私の仕事

は、教科書を作る事です。世界の教科書を作る事が私の仕事です。』と応えたそうです。脳科学研究センターは、日本の精神疾患と脳の研究の最先端です。私たちの仕事に直接関係なくても様々な啓発を受ける事が出来るところを見学したり情報を提供していきたいと思っています。

ロータリー財団委員会、プログラム委員会 高木 裕 委員長



・ロータリー財団ですが、クラブとしては財団の事を理解して戴いて、寄付を煽りたいと言う事ですが、活動計画書の中に年次基金の150\$と言う事で目標を掲げて、その他の恒久基金とポリオプラスと平和フェローについては、できるだけ寄付を促すと表現をしたのですが、波多野ガバナー補佐からのお話もあり、理事会に於いてそれらを含めて230\$を寄付しようと言う事になりました。多摩分区に於いても、東大和に習って戴ければと言うお話しをし易くなったのでは無いかと思っています。クラブの財

団委員会としては、役目を達成したと思っています。

プログラム委員会としては、会長方針に有りますように、ロータリアンの卓話者リストの中から卓話者を選定して、月間のテーマに沿った内容にして行きたいと思っています。テーブルの上には、8月9月のプログラム内容が掲示されています。8月第2週の例会は、内部卓話を会員増強月間と言う事で、踊りフェスティバルを主催している若林和男会員とうまかんべ祭を主催している木下富雄会員に共に年々発展されている秘訣、人を集める力をお話し戴ければと思っています。22日には、秋川クラブの若手の会からは、会員拡大のお話しをして戴きたいと思います。29日は、卓話者リストの中から、東京RCの広域社団法人日本将棋連盟の青野さんをお願いしています。

増強委員会、クラブ研修リーダー 守重 勝弘 委員長



・増強委員会としては、推薦者リストは出来ています。今年度は全会員が増強委員です。小さなチーム分けをして、行動していきたいと思います。会員増強は、至上命題ですので虎井・藤宮年度に30名程度に行きたいと思っています。

クラブ研修リーダーですが、研修リーダーというのは、1998年位にアメリカのニュージャージー州のRIの会長をされた方が、ニュージャージー州の幾つかのクラブに声を掛けて勉強しなければいけないとスタートさせた物が、RIとしても現在しっかりと活動して行こうと言う事です。今回の研修は、今迄と違い課題を与えられたグループディスカッションでした。クラブ内の研修リーダーとしては、卓話前の数分時間を戴いて、お話しをして行きたいと思います。ロータリーの事をよく知りましょう。

点鐘 虎井 廣志 会長